

## 大学のあるまちづくり ーサスティナブルタウンを目指してー

本年度は学内設備の有効利用やアクセス問題に注目し、プロジェクトを行ないました。昨年度は完全対面でしたが、本年度は教員の都合もありオンライン併用で活動を行なわなくてはならず、全体リーダーの小島君や各班リーダーを中心に思考錯誤しながらもひとつひとつの課題に対して真摯に向き合い、進めていたと思います。先生方からの厳しい指摘に対して自分たちの案を調整していくのは骨の折れる作業だったと思いますが、履修生が主体的に活動し未来の学生が喜ぶ提案を生み出すなど、TAとしては履修生一人一人が新たなものの創造者として意欲的に活動している姿勢を支えることができたことには大きなやりがいを感じました。

## 留学生と創る！伝統と革新・日本酒文化読本 (アントレプレナー)

本プロジェクトは11名という人数の多さを生かして、チームの雰囲気は明るく、活発なコミュニケーションを取ることが強みだと感じていました。仕事の分担や細部の連携が非常に難しいところではありましたが、各所のリーダーが統率し、メンバーが自らの役割を果たすことができていたと思います。春学期はゲストスピーカーの講義、取材を行うなどのインプットを、秋学期では読本製作、留学生イベント、行政プレゼンなど多くのアウトプットを行い、大変忙しい1年間でした。これら全ての活動は、皆さん一人ひとりの役割が十分に機能していなければ、なし得なかったものだと思います。この数多くの学びを、ぜひ今後の学生生活や将来に役立てて下さい。1年間本当にお疲れ様でした。

## こどもの手でつむぐ京都の錦織 ー未来へ伝える伝統の絆

1年間本当にお疲れ様でした。最終的に履修生は2人となり、それぞれの負担も大きくなってしまいましたが、チーム一丸となって最後まで走り抜けられたことをうれしく思います。今年度は子供を対象としたテーマということで、伝統継承の大切さを子供の目線でどのように伝えるかが難しい点であったと思います。限られた時間の中、4月から学んできたことや6月のイベントでの経験を活かして、クローバー祭でのイベントを大成功で終えられたことは誇りに思っています。

織物についての知識がほとんどない状態からスタートしましたが、工房取材やイベントの実施などに積極的に取り組み、常に何かを学び得ようとする姿勢がとても印象的で、そんな2人と1年間活動できたことを光栄に思います。

## クリエイティブな映像制作で道路交通の 安心安全を守る！

今年度のチームは、映像制作のスキルを持った人や、外部との交渉を積極的に  
行える人、チームのメンバーを取りまとめるのに長けた人、アイデア力のある人、  
さまざまな活動に柔軟に対応して実行できる人とそれぞれが違う強みを持ってお  
り、少人数であるにも関わらず、それらを活かしてたくさんのプロジェクトを企  
画し実行した素晴らしいチームでした。特に、メンバーが互いの強みや「チーム  
でやりたいこと」を理解して、意見を尊重し合いながらプロジェクトを進めてい  
く姿が印象に残っています。皆さんが本プロジェクトを通して得た経験や技術、  
人との繋がりは、他では得難いものであったと思います。だから今後、今年度の  
活動を振り返って、「頑張ってたかった」と思えるものであったら嬉しいです。1  
年間、お疲れ様でした。

## 令和時代の商品企画！ 京都着物をプロデュースしよう！

授業での意見交換や学びを通して、目的に合ったイベントを考え、実行してい  
る姿がとても印象的でした。多くの人数で、多岐に渡る活動内容を進めることは  
非常に大変だったと思います。しかし、それぞれの視点や考え方を活かすために、  
班をつくり、手分けしながら作業を進める工夫をしていました。それぞれが一生  
懸命に活動する姿を見ることができ、とても嬉しく思いました。このような工夫  
が、アイデアを出し合い、企画や準備を進め、実行に移すことに繋がったと思  
います。この1年間の学びで得たプロセスを大切に、今後も興味のあることにチャ  
レンジし続けてください！

## 障がい者の声を活かす！ 広報と商品開発で就労をサポート！

まず、履修生のみなさん1年間本当にお疲れ様でした！慣れない学生主体のプ  
ロジェクト科目に最初は苦戦している様子でしたが、活動を模索するうちに、徐々  
にみなさんらしいプロジェクト科目になっていったと思います。障がい者の方々  
との対話や藤袴を使ったお香の開発、そしてラジオでの広報活動など、普段中々  
できない貴重な取り組みに携わった経験は、一生の思い出になったはずです。プ  
ロジェクト科目を通して得た学びをこれからの人生に活かして行ってください！

最後に、ご縁あり、この科目のSAを担うことができ嬉しかったです。履修生  
のみなさん、先生方、その他プロジェクト科目に関わってくださった皆様方、1  
年間ありがとうございました。

## 京都の景観まちづくりの課題と今後の展望を考える

---

1年間お疲れ様でした！

今年新設されたプロジェクトに携われたということで、課題やゴール設定が難しい内容に皆さんが喰らいついていく姿に感心しておりました。

本プロジェクトは9名の履修生から始まりましたが、秋学期には4名となりました。それでも最後まで諦めずにプロジェクトを推進できたのは、皆さんの継続力があってこそだと思います。春学期はゴールが見えないことで不安になることも多かったと思いますが、夏休みから11月にかけての松ヶ崎の方々へのヒアリング調査を行ったことや、調査を通して12月にまちづくりの提案をし、松ヶ崎の方々との協議できたことは本当に素晴らしい成果だと思います。私にとっても良い経験となりました。本当にお疲れ様でした！